

執筆者紹介

| | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 星 純子 (ほし じゅんこ) | 茨城大学人文学部 |
| 三野 和恵 (みの かずえ) | 日本学術振興会特別研究員 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 |
| 深串 徹 (ふかくし とおる) | 青山学院大学大学院国際政治経済学研究科博士後期課程 |
| 楊 子震 (よう ししん) | 筑波大学大学院人文社会科学研究科 |
| 鳳氣至純平 (ふげし じゅんぺい) | 国立成功大学台湾文学科博士課程 |
| 張 文薫 (ちょう ぶんくん) | 国立台湾大学台湾文学研究所 |
| 清水 美里 (しみず みさと) | 東京外国語大学大学院地域文化研究科博士後期課程 |
| 富田 哲 (とみた あきら) | 淡江大学日本語文学系 |
| ベネディクト・アンダーソン (Benedict Anderson) | コーネル大学名誉教授 |
| 呉 叡人 (ご えいじん) | 中央研究院台湾史研究所 |
| 梅森 直之 (うめもり なおゆき) | 早稲田大学政治経済学術院 |

編集委員

小笠原欣幸、上水流久彦、河原功(副委員長)、佐藤幸人(委員長)、澤井律之、張士陽、門間理良

編集後記

久々に『日本台湾学会報』の編集に戻ってきました。名編集長になると期待されていた山口守さんが、学会の理事長になられたため、わたしのところにお役が回ってきました。

以前にわたしが担当したのが第2号と第3号ですから、およそ十年が経っています。第1号では審査体制は構築したものの、編集まではあまり手が回りませんでした。第2号からある程度、雑誌として一定の体裁を整え始めました。あれから十号を経て、この間、携わった方々の努力によって、ずいぶんと立派な雑誌に育ったと思います。

今号の製作にあたっては、投稿された方々をはじめ、厳正な審査をしていただいた査読者の方々、記念講演の原稿をお寄せいただいたベネディクト・アンダーソンさん、呉叡人さん、梅森直之さんから多大なご協力をいただいています。ここに深く感謝の意を表したいと思います。また、これまでに続き、今号においても一般財団法人台湾協会から、発行経費の一部を補助していただきました。最後となりましたが、この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

(編集委員長 佐藤幸人：アジア経済研究所)

日本台湾学会報 第14号 2012年6月10日発行

編集・発行：日本台湾学会『日本台湾学会報』編集委員会
〒113-0033 東京都東京都文京区本郷7-3-1
東京大学東洋文化研究所 松田康博研究室気付
E-mail：nihontaiwangakkai@gmail.com
ウェブサイト：http://www.jats.gr.jp/